

# 取扱説明書

## U-AW 電動減光ホイール

お願い

この製品の性能を十分に発揮させるため、および安全を確保するため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、ご使用时には常に閲覧できる状態にしてください。

光学顕微鏡アクセサリ



# 目次

はじめに –安全にご使用いただくために、必ず読んでください– 1~2

## 安全に関するお願い ..... 1

**1** ご使用にあたって ..... 2

**2** 手入れ、保存について ..... 2

## 1 システム図 ..... 3

## 2 組立て方 ..... 6

**1** 落射照明系に使用する場合 ..... 6

**2** 透過照明系に使用する場合 ..... 8

## 3 使い方 ..... 10



## はじめに

本電動減光ホイルは透過照明系と落射照明系のいずれにも取付け可能で、6段階の明るさ調整(透過率100%、25%、12.5%、6%、1.5%、0%)を電動操作で行えます。

## 注意

この装置を取扱説明書に記載されている以外の方法で使用されますと安全が保証できず、更に故障のおそれがあります。この取扱説明書に従ってご使用ください。

**注意** : それを守らないと軽傷または中程度の傷害、または商品や周辺の家財などの破損につながる可能性のある事柄を示します。また、危険な行為に対する警告にも使用されます。


◎ : 参考 (操作・保守において知っておくと便利な内容)

## ⚠️安全に関するお願い

- 1) 電動減光ホイルの接続を行う場合は、各コントロールボックス(BX3-CBH、U-CBM、IX3-CBH、IX3-CBM)のメインスイッチを¥(OFF)にするか電源コードプラグを抜いてください。
- 2) 電動減光ホイル取付部内に指や異物を入れないでください。
- 3) クラス1を超えるレーザー製品と組合せて本製品を使用する場合は、本取扱説明書は無効となります。組合せるレーザー製品の取扱説明書に従ってください。


## 安全に関するシンボルマーク

このシステムには下記のシンボルマークが付いています。  
マークの意味をご理解いただき、安全な取扱いを行ってください。

マーク	意味
	表面が熱くなっていますので手を触れないでください。 やけどをする危険があります。

## 注意表示について

特に使用上・操作上の注意を要する部位には、注意表示がされています。必ず指示事項をお守りください。

注意表示位置	・電動減光ホイル(U-AW)	〔高温注意〕	
--------	----------------	--------	---

注意ラベルが汚れたり、はがれたりした場合の交換およびお問い合わせは、ご購入先の当社の販売店へご連絡ください。

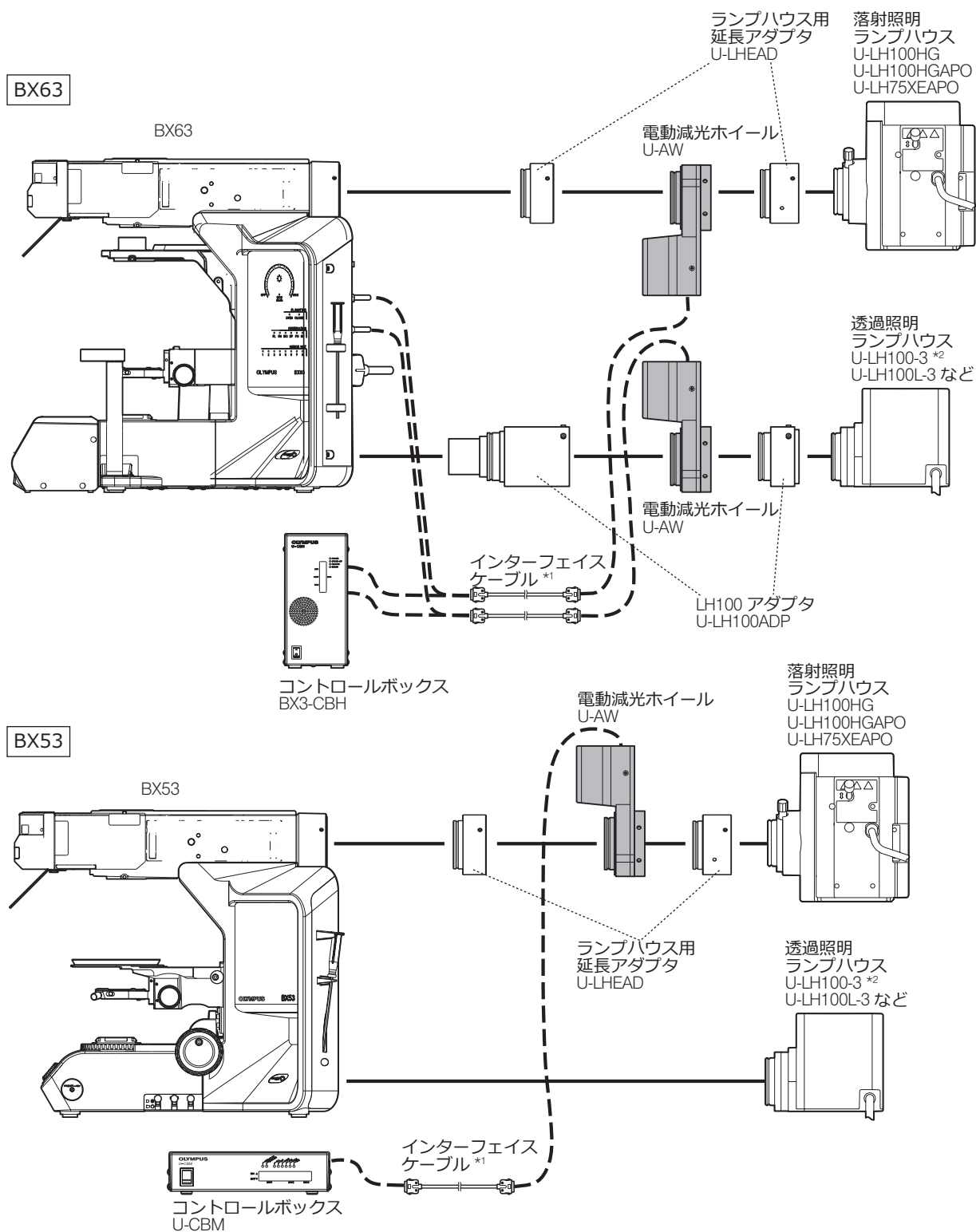
## 1 ご使用にあたって

- 1) この装置は精密機器ですので、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。
- 2) 各部を分解することは故障の原因となるので絶対に行わないでください。
- 3) 直射日光・高温多湿・ほこり・振動のある場所での使用は避けてください。
- 4) 本電動減光ホイール使用時、超広視野観察(FN26.5)では高倍対物レンズで周辺にかげりがでることがあります。

## 2 手入れ、保存について

- 1) 各部の清掃は、希釈した中性洗剤をやわらかい布に含ませて、拭いてください。有機溶剤は、塗装やプラスチック部品の劣化を招きますので、使用しないでください。
- 2) 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。ご不明な点は、ご購入先の当社の販売店へお問い合わせください。

# 1 システム図



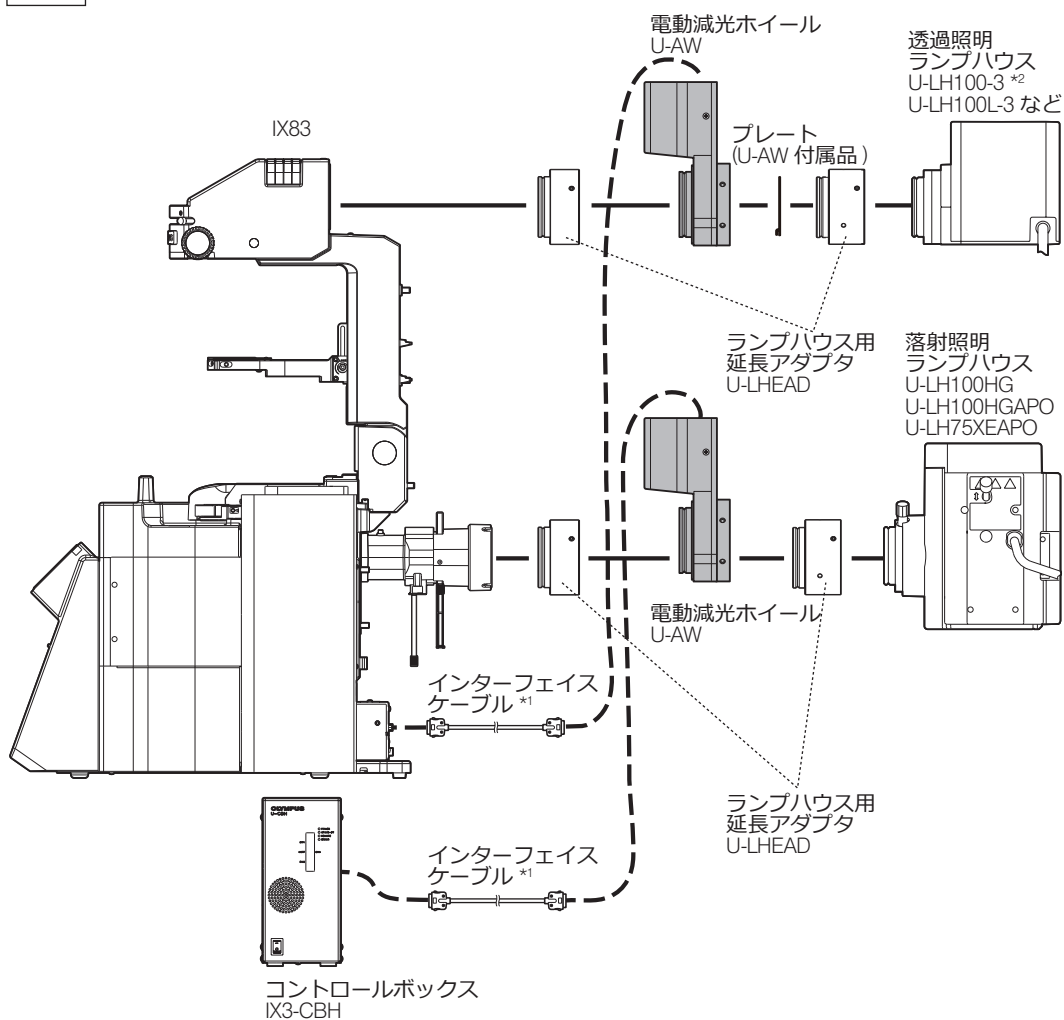
\*1 インターフェイスケーブルは接続するモジュールに応じて、U-IFCBL15(15cm)またはU-IFCBL200(2m)をご使用ください。

\*2 U-LH100-3のランプハウスケーブルが短い場合は、オプションの延長コードU-RMTをお求めください。

**注意**

インターフェイスケーブルがランプハウス周辺に触れると、ケーブルが溶け感電のおそれがあります。ケーブルの配置に際してはランプハウス周辺から充分離してください。

IX83



\*1 インターフェイスケーブルは、U-IFCBL100(1m)をご使用ください。

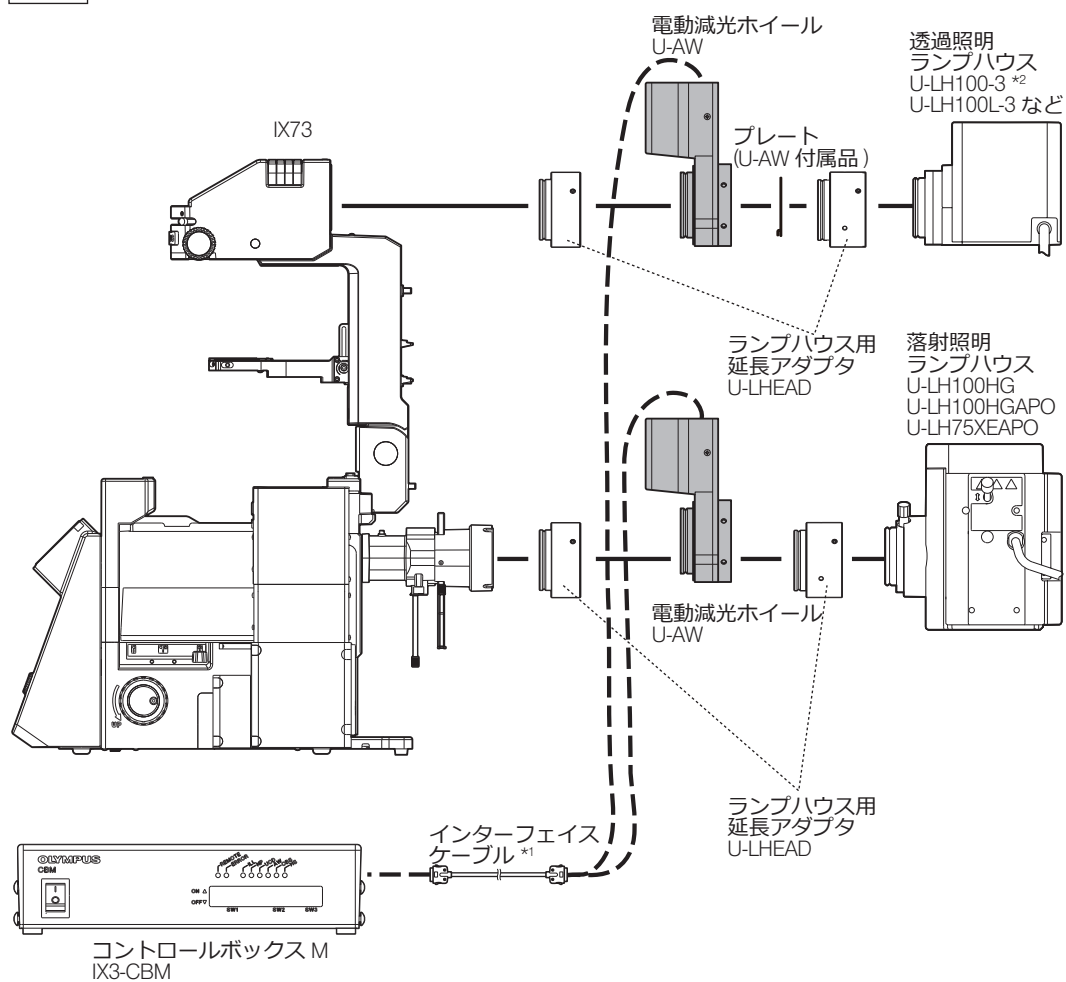
\*2 U-LH100-3のランプハウスケーブルが短い場合は、オプションの延長コードU-RMTをお求めください。

**注意**

インターフェイスケーブルがランプハウス周辺に触れると、ケーブルが溶け感電のおそれがあります。ケーブルの配置に際してはランプハウス周辺から充分離してください。



IX73



\*1 インターフェイスケーブルは、U-IFCBL200(2m)をご使用ください。

\*2 U-LH100-3のランプハウスケーブルが短い場合は、オプションの延長コードU-RMTをお求めください。

**注意**

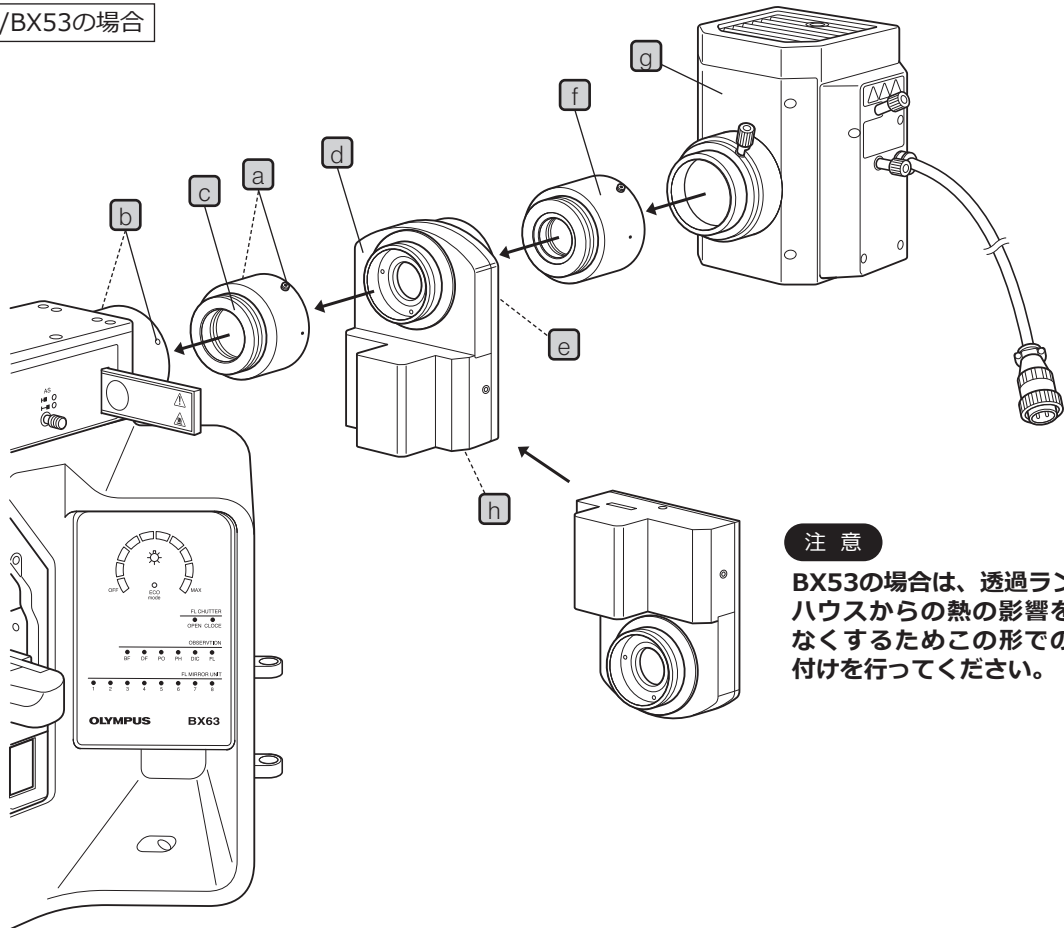
インターフェイスケーブルがランプハウス周辺に触れると、ケーブルが溶け感電のおそれがあります。ケーブルの配置に際してはランプハウス周辺から充分離してください。

## 2 組立て方

◎ 組立てに使用する工具は、鏡体に付属の六角ドライバのみです。


### 1 落射照明系に使用する場合

BX63/BX53の場合

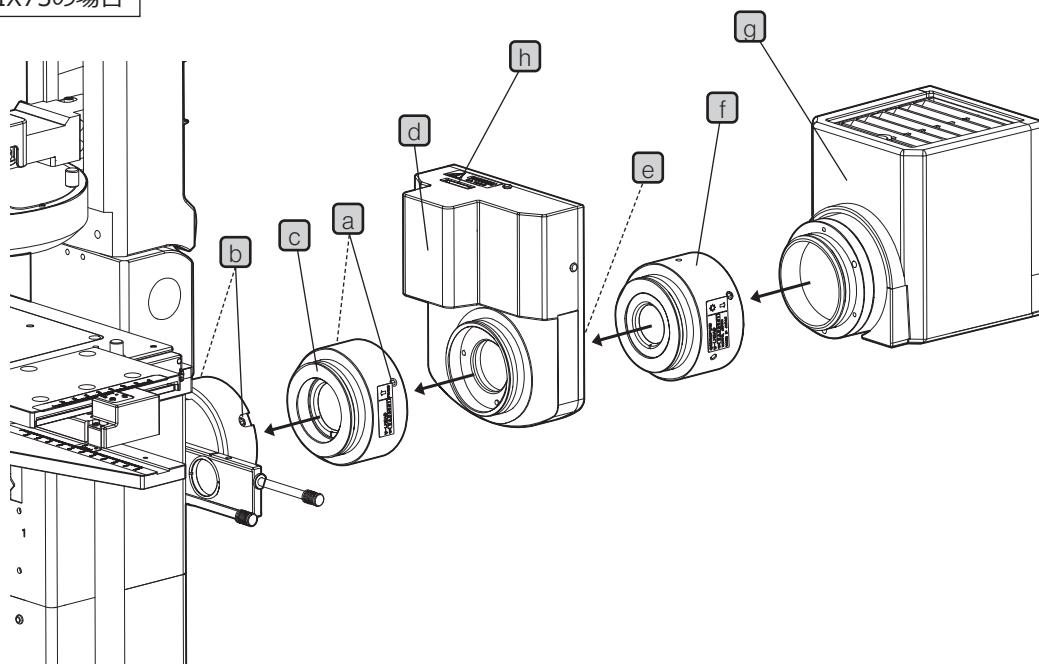



#### 注意

BX53の場合は、透過ランプハウスからの熱の影響を少なくするためこの形での取付けを行ってください。

- 1 U-LHEADの固定ねじ**a**をゆるめて、フレーム側とランプハウス側の2つのユニットに分けます。フレーム側には「FRAME」の表示があり、ランプハウス側には「」の表示があります。
- 2 落射蛍光投光管のランプハウス固定ねじ**b**(2ヶ)を六角ドライバで充分ゆるめ、U-LHEAD(フレーム側)の取付アリ**c**を挿入し、固定ねじ**b**を締付けます。
- 3 U-LHEAD(フレーム側)にU-AW**d**を取付け、固定ねじ**a**を締付けます。
- 4 U-AWの固定ねじ**e**(4ヶ)をゆるめて、U-LHEAD(ランプハウス側)**f**を取付け、固定ねじ**e**の上側の2ヶを締付けます。
- 5 U-LHEAD(ランプハウス側)**f**に同様の取付方法でランプハウス**g**を固定します。
- 6 インターフェースケーブルの一方をコネクタ**h**に差込み、もう一方を鏡体BX63Fまたはコントロールボックスへ差込みます。(システム図参照)

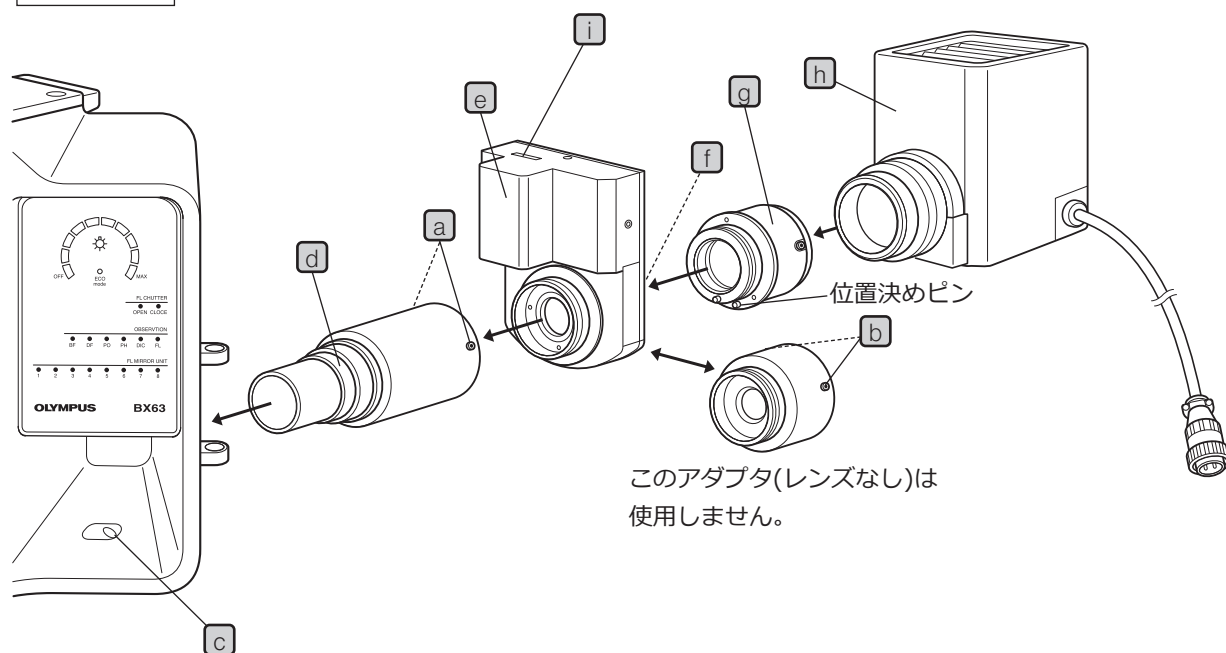
## IX83/IX73の場合



- 1 U-LHEADの固定ねじ<sup>a</sup>をゆるめて、フレーム側とランプハウス側の2つのユニットに分けます。フレーム側には「FRAME」の表示があり、ランプハウス側には「」の表示があります。
- 2 落射蛍光投光管のランプハウス固定ねじ<sup>b</sup>(2ヶ)を六角ドライバで充分ゆるめ、U-LHEAD(フレーム側)の取付アリ<sup>c</sup>を挿入し、固定ねじ<sup>b</sup>を締付けます。
- 3 U-LHEAD(フレーム側)にU-AW<sup>d</sup>を取付け、固定ねじ<sup>a</sup>を締付けます。
- 4 U-AWの固定ねじ<sup>e</sup>(4ヶ)をゆるめて、U-LHEAD(ランプハウス側)<sup>f</sup>を取付け、固定ねじ<sup>e</sup>の上側の2ヶを締付けます。
- 5 U-LHEAD(ランプハウス側)<sup>f</sup>に同様の取付方法でランプハウス<sup>g</sup>を固定します。
- 6 インターフェースケーブルの一方をコネクタ<sup>h</sup>に差込み、もう一方をコントロールボックスIX3-CBHまたはIX3-CBMへ差込みます。(システム図参照)

## 2 透過照明系に使用する場合

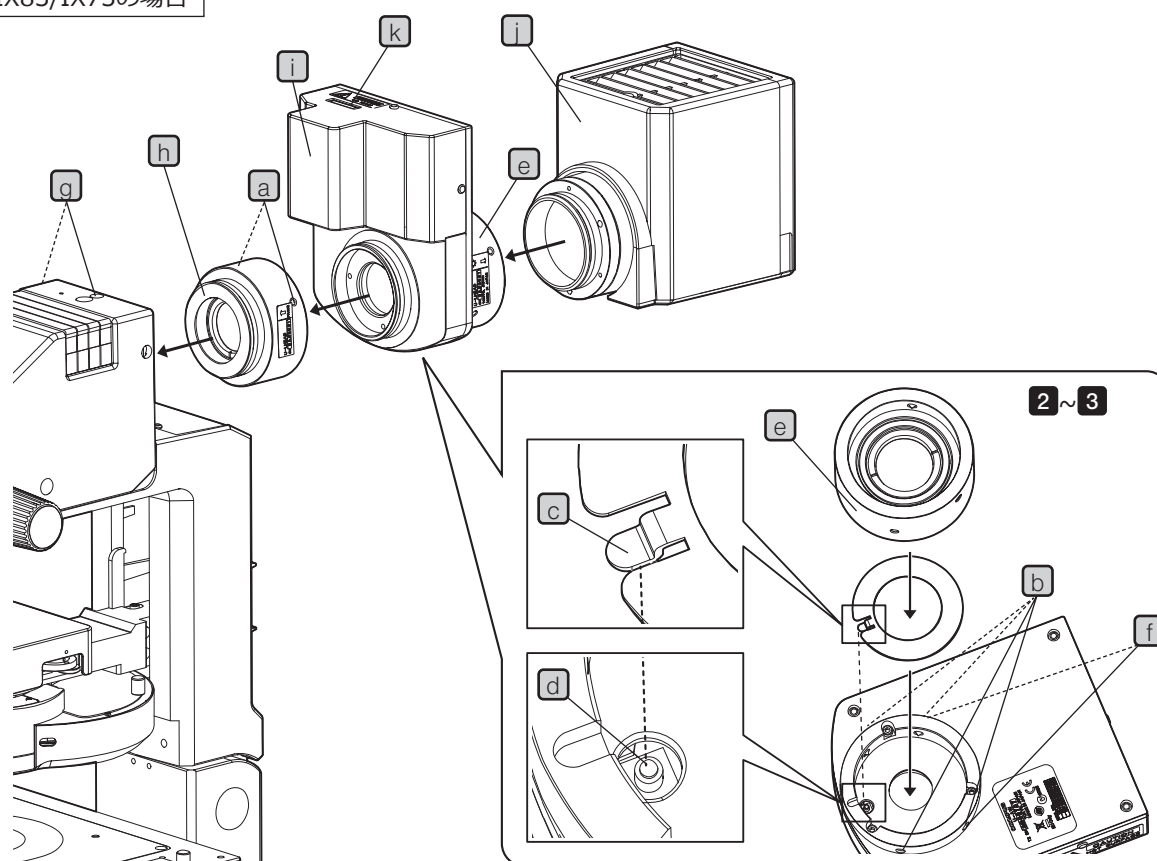
BX63の場合




- 1 U-LH100ADPの固定ねじ**a**と**b**をゆるめて、「前」、「中」、「後」の3つのユニットに分けます。(このうち、「中」のユニットは使用しません。)
- 2 鏡体のランプハウスアダプタ固定ねじ**c**を六角ドライバでゆるめ、U-LH100ADP「前」の取付アリ**d**を挿入し、固定ねじ**c**を締付けます。
- 3 U-LH100ADP「前」にU-AW**e**を取付け、固定ねじ**a**を締付けます。
- 4 U-AWのランプハウス固定ねじ**f**(4ヶ)をゆるめて、U-LH100ADP「後」**g**を位置決めピンを合わせて取付け、固定ねじ**f**の上側の2ヶを締付けます。
- 5 U-LH100ADP「後」**g**に同様の方法でランプハウス**h**を固定します。
- 6 インターフェースケーブルの一方をコネクタ**i**に差込み、もう一方を鏡体BX63Fまたはコントロールボックスへ差込みます。(システム図参照)

**注意** U-AWが正しく取付けられていないと、U-AWが認識されない場合があります。U-AWが認識されない場合は、U-AWを正しく取付けなおしてください。

IX83/IX73の場合



- 1 U-LHEADの固定ねじ**a**をゆるめて、フレーム側とランプハウス側の2つのユニットに分けます。フレーム側には「FRAME」の表示があり、ランプハウス側には「

**注意** U-AWが正しく取付けられていないと、U-AWが認識されない場合があります。U-AWが認識されない場合は、U-AWを正しく取付けなおしてください。

# 3 使い方

電動減光ホイールの切換操作は下記モジュールで行えます。

## コントロールボックスBX3-CBH使用時

- タッチパネルコントローラ(BX63に付属)
- コントローラU-MCZ

## コントロールボックスU-CBM使用時

- CBM用ハンドスイッチU-HSCBM

## コントロールボックスIX3-CBH使用時

- タッチパネルコントローラ(IX83P1ZFまたはIX83P2ZFに付属)
- コントローラU-MCZ

## コントロールボックスM IX3-CBM使用時

- CBM用ハンドスイッチU-HSCBM
- 操作方法は、各取扱説明書をご参照ください。



この製品は 2022 年 4 月 1 日より **株式会社エビデント** が製造をおこないます。  
この製品についてご不明な点は、下記のお客様相談センターまたはウェブサイトを通してお問い合わせいただくか、購入された販売店にお問い合わせください。

## 株式会社エビデント



 **0120-58-0414** 受付時間 平日 9:00~17:00

※携帯・PHSからご利用になれます。

E-mail: [ot-cic-microscope@olympus.com](mailto:ot-cic-microscope@olympus.com)

(ライフサイエンスソリューション)

**お問い合わせ**

<https://www.olympus-lifescience.com/support/service/>



(ライフサイエンスソリューション)

**当社ウェブサイト**

<https://www.olympus-lifescience.com>



(産業ソリューション)

**お問い合わせ**

<https://www.olympus-ims.com/service-and-support/service-centers/>



(産業ソリューション)

**当社ウェブサイト**

<https://www.olympus-ims.com>

